

高市はイラン戦争参戦 ＝自衛艦派遣をするな 米・イスラエルはイラン攻撃をやめろ

3月19日に高市首相は訪米します。トランプ大統領は日本に名指しで軍艦をタンカー護衛と機雷掃海に送れと恫喝しています。「封鎖で困るのはおまえらだから、喜んで出兵すべきだ」と。さすがにトランプ大好き高市首相でも「すぐに軍艦を送ります」とは言えません。国内の世論や平和憲法、これまでの議論から許されないからです。しかし、高市首相は「法的に何が可能か考える」とあくまでもトランプのイラン戦争に協力するつもりです。私たちはトランプの戦争への協力を断固反対です。自衛艦の派遣も絶対反対です。



炎上するテヘラン郊外の石油基地

自衛艦の派遣はイラン戦争への参戦だ

メディアは報じませんが、タンカー護衛や機雷掃海＝武力行使です。自衛艦を送ることは、イラン戦争に日本も参戦することです。米とイスラエルは国際法違反の戦争を一方的に仕掛けました。この戦争には何の正当性もありません。援軍を送れば参戦であり、日本が侵略戦争をすることになります。憲法と戦後の平和主義を全否定するような参戦を絶対に認めてはなりません。

ホルムズ海峡は封鎖されていない

政府やメディアはホルムズ海峡封鎖と大騒ぎを演じますが、実際には封鎖されていません。米とイスラエルが勝手に仕掛けた戦争に巻き込まれて通れないだけです。国際法上通れないのは敵国である米とイスラエルの船だけです。イランは米の同盟国以外は通れると言っています。現に中国やインド、パキスタン、トルコ、ギリシャ等の船がイラン政府と調整して通っています。タンカーを通させ、経済への影響を避けるのが目的なら、日本は米の戦争に協力しないと宣言して、イラン政府と話し合うべきです。米に加担して参戦するのは全く逆効果です。

米とイスラエルを非難し、戦争をやめさせよう

戦争の被害は甚大です。イランの国と国民(死者3000人超)だけでなく、周辺国の被害も深刻です。イスラエルはレバノン侵略(死者1000人)まで始めました。これ以上続けば石油価格高騰をはじめ世界中が深刻な影響を受けます。この原因を作ったのは何よりも国際法違反の戦争を始めた米国とイスラエルです。米国の戦争に加担し、戦争に参加するのではなく、両国に直ちに戦争をやめるように要求することが一番重要です。高市首相と日本政府はこの戦争が違法だと一切認めず、トランプの戦争を正当化し続けていますが、それが戦争を長引かせています。高市首相は訪米して、①軍事費の大幅増(GDP比5%)、②巨額の費用を要する米ミサイル防衛への出費、③米国エネルギー部門への投資をお土産に、対中対決姿勢の維持をトランプに懇願するつもりです。しかし、必要なのはトランプに面と向かってすぐ戦争をやめろと非難し、一切協力しないと突きつけることです。

リブ・イン・ピース☆9+25

<https://www.liveinpeace925.com> Email; info@liveinpeace925.com 2026年3月19日

